

令和3年度 授業改善推進プラン 高学年

	令和2年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○よいところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国語	<p>○話し手の目的や伝えたいことの内容を捉えて聞き取ることや、立場や役割に応じて話すことはおおむねできている。</p> <p>○物語では登場人物の気持ちや様子を読み取る力は、6年生で6.3ポイント、5年生で7.2ポイント向上している。</p> <p>△段落の役割を意識しながら文章を構成したり、理由を明確にしたりしながら書く力に課題がある。</p>	<p>○話し合いの学習では、相手や目的に応じた話し方を指導するとともに、相手の意図や話題の中心を捉えて話を聞くことを指導することで、発言内容と目的や意図を関連付けて考えることができるようにする。</p> <p>○叙述をもとに考えをまとめていく学習を引き続き取り入れる。</p> <p>△書く単元では、段落それぞれの役割を明確にし、本論には事例や経験、引用を用いた理由を取り入れることが必要なことを丁寧に指導する。書いた文章を自分、友達、教師で読み合い、正しく文章を書くことができるようにする。</p>
社会	<p>○地図の見方や日本の位置について正しく理解していて、5年「地図の見方」6年「世界の国土」では全ての項目で前年度の正答率を上回った。</p> <p>○日本の工業地帯のグラフの読み取りでは18ポイントの向上が見られ、目標値を上回った。</p> <p>△工業が盛んな地域の特色について、資料に着目して読み取り、表現する力に課題がある。</p>	<p>○地図帳の内容を白地図に記す具体的な操作を通して、実感を伴った知識を得ることができるようにする。</p> <p>○グラフの読み取りは、何についてのグラフなのかを理解した後、各数値だけでなく数値の変化まで読み取れるような声掛けをする。</p> <p>△一つ一つの資料を丁寧に読む方法を伝えていくとともに、「読み取ったことから考えたこと」を話し合う場を設定したり、2つ以上の資料を比較して、比べて考える活動を設定したりして、資料を読む力を高める。</p>
算数	<p>○面積、角の大きさ、図形の特徴など図形領域に関してよく理解していて、特に多角形の性質の正答率は昨年度よりも伸びている。</p> <p>○データやグラフを読んだり、活用したりすることの目標値を10ポイント以上上回っているものが多く、知識・技能が高まった。</p> <p>△整数の四則計算がおおむねできている。しかし分数や小数の計算になると、目標値は上回っているが、全体としての正答率が低くなる。</p> <p>△活用能力が問われる問題の正答率が低い。数学的な思考力を伸ばして行くことが必要である。</p>	<p>○具体物やICTを活用し、図形の特徴をとらえることができるようにする。</p> <p>○データやグラフを読むときに「資料読み取りのポイント」を毎回確認するとともに、他教科においてもデータやグラフを読む機会を多く設定する。</p> <p>△タブレットドリルの中の「たしかめプリント」や「フォローアッププリント」「ドリル」などを活用しながら反復練習を行い、基礎を定着させるとともに理解を深めさせる。</p> <p>△考えを交流する場を設定し、根拠をもって考え、それを基に説明したり考えを深めたりすることができるようにする。</p>
理科	<p>○「物質・エネルギー」領域は目標値より1ポイント高く、比較的良くできている。特に電流、ふりこなどの分野が得意である。</p> <p>△5年生の物のとけ方は目標値よりも8ポイント下回っている。</p> <p>△顕微鏡の使い方や対物レンズの使い方や倍率の求め方など、目標値から10ポイント近く下回っている。実験や観察を行って学習した内容や技能が定着していない。</p>	<p>○予想、実験、結果、考察の流れを意識して指導を続けることにより、科学的思考を高め、知識がより定着するようにする。</p> <p>△児童同士で意見交換を行い、深い学びにつなげるようにする。また、テスト以外にも練習問題に取り組んで問題の解き方にも対応できる力を育てる。</p> <p>△一人一人に実験や観察の機会を与えられるように教具を準備し、手に触れて実感をともなわせながら観察や実験の技能と知識を高めていく。</p>
外国語	<p>○「単語の意味理解(聞く)」の内容では、色・野菜・動作など、全ての項目において目標値を上回っている。また「会話全体の理解(聞く)」の内容でも正答率が高い。</p> <p>△アルファベット(大文字・小文字)の読み書きに課題がある。</p>	<p>○ALTの発音を聞いたり、ALTの言ったことを繰り返して言う活動や、英単語や英文を正しく聞き取ったり理解したりできるようにしていく。</p> <p>△英語を自分で書いたり読んだりする経験が少ない。新出の英単語やターゲットセンテンスを使って短文を書く活動を積極的に取り入れ、英語を書いたり読んだりすることに慣れていけるようにする。</p>

<p>体 育</p>	<p>○一時間一時間のめあてを共有し、学習活動を見通して児童が主体的に課題に取り組むことができる。</p> <p>○チーム練習での互いの教え合いにより、ボール操作の技能が向上した。</p> <p>△器械運動の技能に関しては、互いに見合うことはできているものの、技のポイントを手伝うことや、自分で改善策を考えることには課題がある。</p> <p>△新型コロナウイルス感染症の影響で、持久力や敏捷性など、全体的な体力の低下傾向がある。</p>	<p>○Chromebookを活用した学習カードを積極的に取り入れ、めあてや技能のポイントを明確にすることで児童が主体的に運動に取り組み、さらに思考力が高まるようにする。</p> <p>○ボール運動では、主運動につながる補助運動として、一人一人がボールを操作する時間を設ける。また、技能向上につながる練習方法を提示する。</p> <p>△得意な児童からポイントを探したり、試技を撮影したものを見せたりすることで、自ら改善策を考えられるように、グループの組み方や指導方法を工夫する。</p> <p>△体力アップタイムを活用する。また、主運動の時間を十分に設定することで、一人一人の運動量を確保する。</p>
<p>音 楽</p>	<p>○合奏の表現活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>△歌唱の表現活動において、合唱に消極的な児童が多くみられる。</p> <p>△リコーダーに苦手意識をもつ児童が多い。</p>	<p>○見通しや目標をもって取り組めるように、発表の機会などを設定する。</p> <p>△児童が心理的負担を感じる事が無いよう一人一人の声や実態を把握し、子供の自己診断と指導者の観察という両面から一人一人に合った歌い方を見つけられるようにする。</p> <p>△なるべく重奏を取り扱い、響きの豊かさや旋律の重なり的美しさから皆で演奏する良さを実感させ、意欲的に取り組めるようにする。</p>
<p>図 工</p>	<p>○全体的に、造形活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○材料や用具について、前の学年までの経験や技能を生かし、表現に適した方法などを組み合わせる力が育まれている。</p> <p>△制作する時間をより多く確保するために、図工室のルールをしっかりと定着させて、物や道具の準備や管理等をスムーズに子どもたち自身で進められるようにする。</p> <p>△造形活動では、一人一人が自分の活動に自信をもち、思うままに活動を進めていくことができる力を、さらに育てていく。</p>	<p>○児童が興味をもつような題材を吟味する。例えば、目新しい材料を提示する。また、自ら表したくなるようなテーマ設定を工夫し、自己表現することへの充実感や達成感を味わわせる。</p> <p>○様々な材料や道具を自ら選んで使用できる機会を設定する。そのときそのときの技能的なポイントを児童が理解しやすいように、ICT機器を使いながら解説し事例を提示する。また、机間巡視しながら個別に支援する。</p> <p>△どの題材でも、物や道具の準備や管理について、ルーティンを繰り返し、初めて出てくる事柄以外のことは、教師が細かく説明しなくても流れるようにする。</p> <p>△黒板に、授業の大まかな流れを書き、児童が確認できるようにする。児童に指示する内容を精選し、説明を短くすることで、児童自らが考える時間を、十分にとる。道具や材料を限定しないで、児童が選択できるような機会を設定する。</p>
<p>家 庭</p>	<p>○学習に意欲的に取り組み、協力し合って課題を解決しようとしている。また、家庭でも実践している様子が見られ、学習内容を習得している児童が多い。</p> <p>△裁縫の技能面の習得の個人差が大きい。</p>	<p>○友達同士で教え合える場を設定する。また、教材を工夫し主体的に取り組めるような取組を増やす。</p> <p>△学習ステップを明示し、段階を追って習熟できるようにするとともに、繰り返し学習することで基礎技能を身に付けさせる。また、これからも家庭学習等で実践を繰り返させることにより、学習の定着に繋がるようにする。</p>